

第 3 章

「長崎県の産業を支える人材育成事業」 （地域を支える建設分野の人材育成事業） 実施報告

3.1 実施目的と実施体制

「長崎県の産業を支える人材育成事業」は、長崎県立工業高校の建設・土木系学科に在籍する生徒を対象として、高校と民間企業及び大学が連携し、地域産業を担う人材を育成することを目的とした事業である。

本センターはこの事業において、人材育成事業の一環である「インフラ長寿命化体験実習」を担当し、道守養成ユニット認定者の指導のもと、生徒に対して講義や点検演習、現場実習を実施した。

- (1)実習名：インフラ長寿命化体験実習
- (2)対象生徒：佐世保工業高校土木科
大村工業高校建設工業科
鹿町工業高校土木技術科 各校共に3年生 課題研究班
- (3)実習対象：市や町が管理する主に橋梁の点検
- (4)実習目的：身近な橋梁等の実情を観察し、劣化の原因やメカニズムを学習する
点検報告書を管理する自治体に提出し、有効化と社会貢献を図っている
- (5)実施体制：事前講習・・・DVD(インフラ長寿命化センター作成)
演習・・・道守認定者およびインフラ長寿命化センター担当者
実習・・・道守認定者

3.2 実施内容

- (1)長崎大学インフラ長寿命化センターでの演習：3校合同

開催日	会場	人数	備考
8月24日	長崎大学	13名	参加者：佐世保・大村・鹿町 各工業高校生徒 講師：道守認定者3名
11月17日	長崎大学	13名	参加者：佐世保・大村・鹿町 各工業高校生徒 講師：道守認定者1名、センター職員2名

- (2)インフラ長寿命化体験実習：各校単独

開催日	会場	人数	備考
9月7日	佐世保工業高校	3名	講師：道守認定者2名
9月28日			
9月7日	大村工業高校	6名	講師：道守認定者2名
10月19日			
9月8日	鹿町工業高校	4名	講師：道守認定者2名
9月11日			

実施風景と損傷・劣化状況



長崎大学での研修 1 (左写真より、中性化ドリル法、電磁誘導法、電磁波レーダー法)



長崎大学での研修 2 (左写真より、浸透探傷試験、磁粉探傷試験、鍍厚・膜厚超音波測)



谷合橋・上宇戸橋の点検 (左写真より、点検の様子、高欄の鉄筋露出、排水口の詰り)



元触橋の点検 (左写真より、点検の様子、橋梁端部での段差、地覆部の遊離石灰)